



# 小田原なぎさ会通信

No.37

2024年10月1日発行

私たちは、「精神に障害を持つ皆さんをはじめとして、色々な障害を持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動をしています。①施設の設置・運営、②普及・啓発、③関連先との連携、が事業の中心です。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

## つながりを広げ、更なる連携・協働へ

理事長 乾 恒雄



新型コロナウイルス感染症(以下、コロナと記載)は、依然として人の移動が多くなる夏季と冬季に感染拡大の波を作りながらも落ち着いていく方向を示しており、まさに「With コロナ」の状態にあるように見えます。引続き状況の変化に応じ、柔軟な判断と対応を継続しながら活動しております。

さて、今年度も基本方針として「現在取組み中の活動継続とその内容充実に重点を置く」ことを掲げて活動を開始し、多くの活動はコロナ禍前の状況まで回復させて

います。1年の最大イベントである「2024年(令和6年)度の通常総会」は、会員の皆様と共に小田原市長をはじめとしたご来賓をお招きして昨年に引続きコロナ禍前の形式で5月29日に開催し、無事終了いたしました。また、SDGsの視点では、特に昨年度に受賞した神奈川県 SDGs 企画「みんなの SDGs 賞」の反響が大きく、障害福祉の分野に留まらず新しいつながりや連携・協働が生まれ始めております。これらの出会いやつながりが、今後どの様に発展していくのかを楽しみにしています(詳細次ページ参照)。

施設運営では、従前同様に「気軽に立ち寄れる居場所作り」と「本人の希望や特性を配慮した相談支援・就労支援」を活動の2本柱として取組んでいますが、このところ障害の域までには至っていない様だが(障害者手帳を持っていない)、精神保健に課題を抱える方々が訪れてくるケースが増えています。今後も利用者の多様化が進むと捉え、この様な方々に対しても心身の状態に応じた適切な支援の必要性を感じる一方、「誰一人取り残さない支援」の実現の難しさも感じており、これからの道を模索しています。

中期的活動指針「広げよう!『活動の輪』」は、昨年度末で一区切りとしましたが、普及啓発活動は継続的に推進しており、現時点で会員数130名にまで『活動の輪』が広がっております。「普及啓発は私達の活動の原点」であり、今後も引続き注力していきたく考えております。多様性の社会の中で「障害を持っている皆さんも大切な私たちの仲間として共に暮らす地域・社会を作り上げていく動きを広げていきたい想い」を大切に、1人でも多くの皆様と共に、このような市民・社会活動を更に広げていきましょう。



小田原なぎさ会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

上記の想いや私たちの活動は、「SDGs」にも①福祉の促進や差別の解消・不平等の是正、②自然環境の保護及び回復(持続可能な生態系や森林の保護・回復、気候変動の軽減等)への取組みによる『誰一人取り残さない』持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、深いつながりを持っていると捉えています。



収穫の秋(小田原市近傍) 2024.9

これからも私たちの活動にご理解とご協力、そしてご協働をよろしくお願いいたします。

このページでは、私たちの法人活動や運営施設「小田原なぎさ作業所」での各種活動・イベントなどの様子を中心に紹介させていただきます。

## SDGs パートナー活動と『みんなのSDGs 賞』

神奈川県及び小田原市のSDGs パートナーとして、障害福祉分野を中心に各種活動に取り組んでいます。

**かながわ SDGs パートナー取組み** (詳細は神奈川県 HP「[かながわ みんなのSDGs 特設サイト](#)」で検索)

神奈川県 SDGs 企画『みんなのSDGs 賞』(障害者が作るアップサイクル自主製品エコマグネットが応募)受賞の反響は大きく、県西圏域のタウンニュース「人物風土記」への掲載を皮切りに、ロータリークラブからの講演依頼や活動分野を超えた企業や団体から新たなコンタクトをいただいています。そして、神奈川県とのSDGs リーフレットやSDGs 特設サイトへの掲載などによる協働と共に、これらの媒体を活用させていただき当法人の活動紹介などの発信強化にもつながっています。今後も新しい協働が生まれそうです。



**おだわら SDGs パートナー取組み** (詳細は小田原市 HP「[みんなでSDGs を学ぼう](#)」で検索)



熱心に耳を傾ける子ども達

小田原市SDGs 企画『夏休み子どもSDGs イベント』に参画し、エコマグネットを子ども達と一緒に作ることを通して、障害福祉への取組みやエコキャップ活動とコロナ禍からエコマグネットが生まれたストーリーを紹介するなどして、当法人では色々な視点からSDGs 推進に取り組んでいることや児童の皆さんにもできるSDGs の取組みがあることなどをお話させていただきました。小田原市が当法人のイベント公開後、参加応募(最大20名+保護者)が半日で満席になるなど、盛大なイベントになりました。子供たちのSDGs に対する関心や意識が少しでも高まって行けば嬉しく思います。

**企業・NPO・学校の連携(神奈川県企画)** (詳細は神奈川県 HP「[協働連携事例集 2023](#)」で検索)

私たちの活動に深く共感していただいたSDGs パートナー企業から協働(エコキャップ活動応援)の申入れを受け、新しいつながりが始まりました。このような連携・協働からも私たちの活動を発展させていきます。

引続き、SDGs 推進を通して、各自治体や各種パートナー登録企業・団体との交流を深める中から、活動分野に捉われないことなく広く連携・協働への可能性を探索していきます。

## エコマグネットの販売拡大と製作権利の無償譲渡

エコマグネットは神奈川県庁の助言や支援及び協働から、下記のような新しい展開が始まりました!!!

### 一般販売の拡大と進化を目指して

アップサイクル(Upcycle)自主製品「エコマグネット」は、関係自治体からの各種発信のおかげもあり注目度が高まって来ています。今までのイベント会場での販売に加え、一般市場での販売も目指しており、その第一歩として「福祉系デジタルギフト事業」に取り組んでいる企業との協働を開始しました。始まりは小さな一歩ですが、これから大きな一歩に成長させて行きたいと考えています。また、近隣の小田原城や箱根などの観光地での販路開発にも着手していきます。更に、現在のエコマグネットを基にして新しいアイデアを盛り込んだ提案も外部からいただいております。これらとの融合による進化にもチャレンジして行きたいと考えています。

### 他の障害福祉団体への製作・販売権利を無償譲渡

「エコマグネットをもっと広げていきたい!」そして、「希望する他の活動団体でも活用していただくことで、障害福祉推進のお役にたてれば嬉しい!!!」との想いから、その製作及び販売を当法人内に留めず、『**他の障害福祉団体へ広く開放することを決断**』しました。この旨を発信したところ、就労継続支援B型事業所を運営している団体から早速申込を受け、各種習熟を終えて既に製作を開始しています(上記権利譲渡第1号)。今後も更に無償譲渡を進めます。



「エコマグネット」を通して、私たちが取り組んでいる障害福祉活動を広く認知していただくと共に、その製作販売権利を開放することで、当法人運営施設の利用者だけでなく、他の障害福祉団体の利用者に対しても作業確保と工賃アップなどへの間接的な貢献を進め、障害を持つ方々の支援を更に広げて行きます。

# 近隣地域との交流・連携

## ① UMECO『アクティブサロン』に参加



私たちの活動を広める一環としておだわら市民交流センター UMECO を利用させていただき、「エコマグネット作り」体験教室を開催しました。参加していただいた子ども達は真剣な表情でエコマグネット作りに挑戦していました。完成するとニコリ笑顔に変わり、こちらも嬉しくなりました。当法人施設利用者のみなさんも1日お疲れ様でした。

## ② 富士見「ふれあいサロン」に参加 ☆

「地域とつながりを更に深めたい」との思いから9月の「ふれあいサロン」に演者側として参加させていただきました。当日は「エコマグネット作り」を地域の方に体験していただきました。また、当法人施設利用者がギターを用いて弾語りを披露したり、同じく利用者の三線演奏に合わせてみんなで「島の宝」(小田原バージョン)を歌いました。サロンは優しさにつつまれていて、皆さんがイキイキとしていてまぶしかったです。地区社協会長の川又さんを始めとした地域の皆様、楽しいひと時をありがとうございました。

ペットボトルのキャップ  
新たな価値あるモノづくり  
「エコマグネット」製作  
無料体験  
【受付 8月3日(土)】  
10:00~12:00



# 施設運営の状況 (地域活動支援センター 小田原なぎさ作業所)

## ① 5年ぶりのバス旅行 ☺ 「国立科学博物館 & 懐石料理」



みんなが待ち望んでいたバス旅行(東京方面)へ5年ぶりに行って来ました ✨ 今回は科学博物館の見学を通してテーマ「人類と自然の共存をめざして」共存可能な未来を築くために、どうすればよいのか、みんなで一緒に考えてみました。重要文化財も一見の価値ありでした。そして広大な公園の景色を望む静かな個室でいただく懐石料理は絶品でした ✨ 「と



### ☺ <みんなの感想> ☺

- ・ 恐竜が好きなので化石を見てその迫力に興奮した…S.U
- ・ 初めてのバス旅行…不安だった。でも行ってほんとに良かった。N.T

## ② 10年以上も継続した畑体験 (2014年~2024年)



初めての畑体験

「乾さん、土に触れると気持ちが落ち着くから施設利用者さん達もやってみない？」と現会員前田さんの投げかけから始まった畑体験。最初は前田さんが育てたジャガイモの「収穫」から開始。数年後には種芋の「植付」を加え、更にその後に関引きなどの「管理」も加えて、一貫した畑体験イベントに成長しました。そして、自分たちで育てたジャガイモを使って「収穫祭」を開催するようになり10年以上が経ちました。前田さんもご高齢になるなど諸事情からこのイベントは今年で終了にします。最初から最後まで変わらず厚いご支援をい

### 🗣️ <活動に参加してきたメンバーの声> 🗣️

- ・ 南足柄の前田さんの畑で毎年野菜の収穫をするのが楽しみでした。ありがとうございました。 T.R
- ・ 植付のやり方をていねいに教えてくれてありがとう。これからは体に気を付けて元気でいて下さい。 H.M



## ~みんなの短歌(6)~

施設利用者の皆さんが作った短歌を少しずつご紹介しています。



- ・ 家にいてアクション映画観てる時 ストレス消えて心すっきり M.Hさん
- ・ 日常を楽しむ心忘れずに 就職目指し挑戦していく S.Cさん

## 事務局からのお知らせ

認定NPO法人小田原なぎさ会では、毎月下記のような様々なイベント等を企画しております。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。お問い合わせは事務局までご連絡願います。

### ●今までの主な活動（R6年4月～R6年9月）

- |                              |                              |
|------------------------------|------------------------------|
| 4/1 機関紙 小田原なぎさ会通信 No.36 発行   | 7/24 第2回地域ネットワーク会議開催         |
| 4/18 かながわSDGsパートナーMTG参加      | 7/30 平塚看護大学「撫子祭」参加（啓発・Iマゲ販売） |
| 4/25 令和6年度第1回理事会開催           | 8/3 UMECO アクティブサロン参加         |
| 5/29 2024年（令和6年）度通常総会開催      | 8/10 新田公園夏祭り参加               |
| 6/6 小田原中ロータリークラブにてSDGs講演     | 9/2 自主防災訓練実施                 |
| 6/13 畑体験（収穫）実施：最後の畑体験        | 9/18 富士見地区ふれあいサロン参加          |
| 6/19 第1回地域ネットワーク会議開催         | 9/25 令和6年度第2回理事会開催           |
| 7/22 夏休み子供SDGsイベント開催（小田原市主催） | 9/27 第11回なぎさ祭開催              |

### ●今後の主な活動予定（R6年10月～R7年3月）

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 10/1 機関紙小田原なぎさ会通信 No.37 発行    | 11/24 第9回 UMECO 祭参加（啓発展示・Iマゲ販売） |
| 10/4 赤い羽根共同募金参加（共同募金会主催）      | 12/月上旬 第3回地域ネットワーク会議（広域）開催      |
| 10/6 富士見スポーツフェスティバル参加         | 12/13 楽しい音楽会参加（市事連主催）           |
| 10/13 国際医療福祉大学「潮風祭」参加（Iマゲ販売）  | 12/20 クリスマス地域交流会開催              |
| 10/26 おだわらハートフェスタ参加（啓発・Iマゲ販売） | 2/中旬 第4回地域ネットワーク会議（近隣）開催        |
| 11/8 おだわらSDGsパートナー交流会参加・登壇    | 2/中旬 曾我山みかん狩り体験開催（協力：曾我山応援隊）    |
| 11/10 新田公民館文化祭参加（啓発展示）        | 3/12 令和6年度第3回理事会開催              |
| 11/16・17 おだわらツデーマーチ参加（Iマゲ販売）  | 3/月上旬 社協さんちの井戸端会議参加（啓発展示・Iマゲ販売） |
| 11/22 県精連ハートメッセージ参加（見学・Iマゲ販売） |                                 |

### ●小田原なぎさ会への入会のご案内と寄附について

#### ★会員募集中：一緒に障害を持つ皆さんの多面的な支援を進めましょう！

会員になっていただくことで、障害者の支援活動につながります。大切に考えていることは『皆さんの思いや心であり、仲間意識』なのです。直接的な活動の時間確保を求めるようなことはありません。

#### ◆小田原なぎさ会会費について

- ・正会員：（個人）入会金0円 年会費2,000円 （団体）入会金0円 年会費10,000円
- ・賛助会員：（個人）入会金0円 年会費1,000円/口 （団体）入会金0円 年会費5,000円/口

#### ★「寄附」というかたちで、小田原なぎさ会の活動を応援願います！

当法人は『認定NPO法人』及び『指定NPO法人』を取得しています。寄附をしていただきますと申告することで、国税と地方税をあわせて寄附金額の最大50%が税額から控除されます。また、法人様からのご寄附の場合には損金算入限度額が拡大されます。

会費・寄附の振り込みは下記口座へお願いいたします。会費支払いは、便利な口座振替（年1回自動引き落とし）もごさいます。詳しくは事務局までお問い合わせください。

■ゆうちょ銀行 記号10970 番号34276131 トクヒ）オダワラナギサカイ

\*他銀行から振り込みの場合（店名）〇九八（ゼロキュウハチ）（店番）098 普通貯金3427613

■さがみ信用金庫 南鴨宮支店（普）0226591 トクヒ）オダワラナギサカイ

次号（No.38）は令和7年4月に発行予定です。当機関紙の感想や福祉に関する情報等がありましたら、下記メールアドレス（o-nagisa@nifty.com）までお寄せ願います。

これからも、更に多くの皆様に愛される「小田原なぎさ会通信」を目指し、より良い紙面作りに努めてまいります。

発行：認定NPO法人 神奈川県・小田原市指定NPO法人 小田原なぎさ会

〒250-0875 小田原市南鴨宮3-16-20 2F

Tel/Fax 0465-47-4513

E-mail o-nagisa@nifty.com

ホームページ <https://www.nagisakai.org/>

Facebook <https://www.facebook.com/odawaranagisakai>

小田原なぎさ会のホームページをご覧になるには

検索サイトで「小田原なぎさ会」と入力いただくか  
右のQRコードをスキャンでアクセスできます

